

特選

山ならばアパラチアンが良いと書くいつか来る日の散骨のため

ピラルクの皮の塙干し売り場にて積まれし山ゆふたつ選びぬ
網と竿持ちて真つ直ぐこぎてゆく誰も触れるな少年の朝
ワイアナ工の山のふもとの小学校みんなで「アロハ」と山にあいこ
朝靄に重なる島影数知れず瀬戸内海は山浮かぶ海

佳
作

南極の風運び來し秋冷のラテンの空は日本晴れなり
街路樹の大アボカード風にゆれ頭上に注意の立て札があり
ヒロ湾の淡き夕焼け背に受けてイワシをねらう少年ひとり
大群の鮭が來たとの知らせ有りモントレー湾に釣り糸垂ら
あまたなる民を襲いし雨なれど夕べ砂漠に虹を架けたり
未知の味メープルベーコンドーナツはてらりと濡れて妖怪

入選

信濃なる山国を出で半世紀外つ国に果て土に還らん
朝市の三十メートルの鮮魚店端から見て行き端つこに鰯
汗だくに古稀とふ山を登り終へ椰子の葉を打つ風の音さく
天空につくと伸びしマホガニー人の命もかくあれとこそ
言葉坂文化の山々巡り行く国際婚は発見の旅
人生は山あり谷あり半世紀異国に住みて老を養う
日毎見るイタペチの山にふるさとを重ねて穏し終の住家に
カンボスの山に満開八重桜見惚れし人の雨に濡れ行く
サイタサイタサクラガサイタその昔暢気そな字と師に譽め

人生の山坂ともに越えて来し夫の背に言う「酒はひかれめに」ドローン飛ぶ結婚式場春の月焦らずに気負わず移民農の秋この国の祖先となるは我が夫婦力の限り頑張ったよと桜樹にはし袋ひとつ結ばれて願いごとかも横文字の見ゆまつ青の空と草原続く中ストーンヘッヂの巨石群立つアメリカ 西岡 德江アメリカ コーベン裏子 フランシス 重光 紀子 ブラジル 宿利 風舟 ブラジル 新井 均 アメリカ アメリカ ブラジル 井上富美子 アメリカ 原 葉 アメリカ 石井志をん アメリカ 中條喜美子 アメリカ 菊池 奏子

若き日に飛驒山脈に挑みたる魂を忘れず背すじを伸ばす故郷の祭りの山車をかけ声の「ヤツサヤレヤレ」今もなづきに果樹園を拓きて建ちし特養にこそとばかり満開の桃激しさは持つべきものか溶岩の吹き上ぐ色に陽は没したり一粒の神の涙は海になり山を作りて我を育む

マンゴーのたわわに実る狭間には揺れて果てなきハワイの青空 夏終り九月に山頂雪とくシエラの麓にわが子住むなりぐんぐんとハイキングの足速くなり何時私は山姥になるわれら住む砂の盆地を閉む山遠き昔に海より生れぬ距離感をようやく縮めて山の背にいのち波打つ父の寝姿 桟橋は海風キラキラ吹き抜けで麦わら帽子に夏の落書き 国王の崩御の翌朝國中が静かに深く黒を纏えり 貿易風に我も鷗も抗いてサイーツサイと江差追分

ブライジ	新井	知里
ブライジ	井上	人栄
ブライジ	三宅	珠美
ブライジ	ホイラップ房子	中原キヤシロー
アメリカ	青木	泰子
アメリカ	近藤	秀子
アメリカ	鶴川	登旨
アメリカ	ミルナード	順子
アメリカ	古田バーバー	
アメリカ	シス和子	
アメリカ	石井志をん	
ドイツ	三原はるみ	
フランス	中條喜美子	
タ イ	重光	紀子
ニア	森上美恵子	
ニユーカー	川村美砂子	